



**杉野 裕介** Yusuke SUGINO

**日東電工株式会社**

会社技術部門 事業開発部 企画部

部長

▶ **アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

社内でフォーサイト・アカデミーに参加していた人の話を聞いたのがきっかけでした。自分に取り組んでいるテーマとまさに重なる内容で、「これだ」と直感しました。その日のうちに経費申請まで済ませたほど、やりたいことが形になっていると感じました。

▶ **実際に受講してみているいかがですか**

自分の考えを確かめ、足りない部分を見つけるという視点で講義に臨んでいます。これまで一人で壁打ちしながら考えてきた分、共感できる部分も多く、学びは非常に大きいです。

ただ、復習のしやすさという点では、整理された情報やアフターフォローがあると、より深く学びを定着できると感じました。プログラム後半でアイデア発想が始まるので、プロトタイプピングまでにもう少し時間があってもよいかもしれません。それでも、自分の思考を他者と交わらせながら精緻化できるこの場は、とても貴重だと思っています。

▶ **次期受講生へのメッセージをお願いします**

このプログラムで得てほしいのは2つあります。

ひとつは「異なるバックグラウンドを持つ人たちと交わること」。自分では気づけなかった視点を強制的に取り込む体験は、考え方を磨くうえで不可欠です。

もうひとつは「共通の目的を持つ仲間と学ぶこと」。まるで『ワンピース』のように、それぞれ違う目的を持つ人たちが集まって成長していく——そんな体験がここにはあります。



**立山 直樹** Naoki TATEYAMA

九州電力送配電株式会社

事業開発室 事業共創グループ

グループ長

▶ **アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

社内で価値創出プロジェクトに取り組む中、内向きだけでは限界があると感じていました。20名の部門で国内事業を担当し、0→1を生む仕組みの構築が必要な状況の中、自分自身も昨年の異動後に視野を広げる必要を痛感。メンバーからアカデミーの話を知り、「外に出て学ぶことが不可欠だ」と直感的に思い参加を決意しました。過去の新規事業でも外に出て動き回ることによって突破口を見出してきた実感が背景にあります。

▶ **実際に受講してみていかがですか**

アカデミーは単発で終わらず、アソシエーションという継続的なつながりがある点が非常に魅力的です。異文化コミュニケーションを短期間で終わらせず、長い時間軸で関係性を育てていけることに価値を感じています。短期的な成果に留まらず、外に出て人と交わりながら考える時間そのものが刺激的で、学び続ける場があることの意義を実感しています。自分の視点をほぐし、仕事の幅が広がる手応えがあります。

▶ **次期受講生へのメッセージをお願いします**

実践と知見の両方を持つ講師陣からの学びは刺激が多く、自分の状況と重ね合わせながら深く考えることができます。日常では出会えない人たちとの対話から、自分にはなかった視点が得られるのも大きな価値です。外に出て新しい文脈に触れることは、必ず日々の仕事に還元されます。肩肘を張らず、まずは飛び込んでみてください。長くつながる学びの場として、きっと大きな財産になると思います。



**松谷 恵利** Eri MATSUTANI

**株式会社島津製作所**

基盤技術研究所 主任

▶ **アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

上司が1期2期とプロデューサー専攻を受講していたことや、社内でのワークショップで松波先生の考え方に触れたことがきっかけです。以前からアカデミーに参加したいと願っていたので、今回思いが叶った形です。幸運にも同じ部署で受講仲間が揃い、心強さも感じています。

▶ **実際に受講してみていかがですか**

普段接点のなかった人たちと出会え、視野が広がったことで日常の感度が上がりました。研究職で馴染みのあったバックキャストやフォアキャストの考えを実践的に深められ、子育ての場面でも、子供の小さな発言から、テーマに繋がる気づきを得られるようになったのが嬉しい変化です。長期にわたる学びの継続が理解の定着に役立っています。アカデミーをきっかけに、自分の思いから始まる新価値へのチャレンジを始めました。

▶ **次期受講生へのメッセージをお願いします**

最初は自分がちゃんとアウトプットできるか不安もありましたが、仲間とともに学ぶことで視点が増え、モチベーションも維持できています。継続的に学べるこの場は、日常のアイデアや発想を豊かにしてくれます。これから学ぶ皆さんのためにも、自分なりの成果を出して還元したいと思っています。



**森下 楽嗣** Gakuji MORISHITA

株式会社サニックス資源開発グループ

ひびき工場 工場長

▶ **アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

会社の先輩がプロデューサー専攻を受けて良い影響を受けていたことと、社長からの指名がきっかけでした。新規事業担当ではない自分でも、今の延長線だけでは将来行き詰まると感じ、学びの機会に飛び込むことで自分の殻を破りたいという想いで受講を決めました。将来を見据えた成長への投資として捉えています。

▶ **実際に受講してみていかがですか**

毎回異職種の間から全く新しい発想や知らなかった視点を得られ、大きな刺激になっています。授業は一度で完璧に理解できないこともあります。繰り返し学ぶ構成でつながりが腹落ちしていく感覚があり、日常の見方が変わりました。事実と解釈を分けて考える習慣が付き、少しずつ自分の成長を実感しています。

▶ **次期受講生へのメッセージをお願いします**

迷っているならぜひ一歩踏み出してください。会社の協力が得られるならそれ自体がチャンスです。私も不安はありましたが、参加したことで違う世界が見え、発想や人脈が広がりました。プロデューサー専攻はコラボレーションから新しい何かが生まれる場です。得た学びを活かして1年後の自分を楽しみにしてほしいです。



**服部 憲治** Kenji HATTORI

株式会社ブリヂストン

共創推進統括課 課長

▶ **アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

フォーサイトの学びにはこれまでも取り組んできましたが、より実装を進めるための新しい視点や刺激が必要だと感じていました。活動を次の段階へ進めたいという思いも強く受講を決意したんです。ちょうど新しい取り組みを探していたタイミングが重なったことも後押しになりました。

▶ **実際に受講してみているかがですか**

松波先生の講義は過去の受講で基礎理解ができていた分、今回の講義内容をより深く吸収できました。外に出て行うフィールドワークや調査の実践は学びを広げる大きな機会になっています。多様な背景を持つ受講生との対話は刺激が多く、普段とは異なる思考の運動ができます。講義動画をアーカイブで見返せるため、当日は自分の思考に集中できるのも良い点です。また堂目先生や竹林先生の講義は、学問と実践が自然につながり、これまで言語化できていなかった感覚が整理されていく面白さがあります。

▶ **次期受講生へのメッセージをお願いします**

普段出会えない多様な受講生とのつながりは、大きな財産になります。視点が違う人と話すことで、自分の考えが立体的になり、学びが一気に広がります。仲間が実践していることを知ることで、自分自身の取り組みのヒントが見えてきます。アカデミーの学びは必ず活かします。迷うより、まずは一歩踏み出してほしいと思います。



**森下 誠** Makoto MORISHITA

KDDI株式会社

情報システム本部基幹システム3部 副部長

▶ **アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

実は受け身で参加しました。500人ほどの組織の中で、部長に「行くよな」と肩をたたかれたのがきっかけです。長期間の研修で、これまで経験がなかったため不安もありましたが、「白羽の矢が立った」と受け止めました。

▶ **実際に受講してみていかがですか**

8月のフォーサイトシート発表までが短期間で、課題も重く正直きつかったです。ただ、そのプロセスを経て、アンテナの立て方が変わりました。通勤中の時間や何気ない会話からも「何か気づきがあるのでは」と考えるようになり、これまで使っていなかった思考を働かせるようになったのは大きな変化です。コーポレート部門として、新価値創造に直接関与していない立場だからこそ、この学びをどう社内に還元するかを模索しています。個人の学びで終わらせず、組織全体に広げていくことが今後の課題です。

▶ **次期受講生へのメッセージをお願いします**

社外とのつながり、そして業務が違って同じような悩みを持つ人たちと出会えるのが、このプログラムの魅力です。自分の枠を越えて、多様な人たちと一緒に考え、学び、解を見つけていく——その刺激をぜひ味わってほしいです。



高木 誠治 Seiji TAKAGI

## プライムプラネット エナジー & ソリューション株式会社

プロダクトカンパニー Smile Eco Project

サービス開発グループ グループ長

### ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

これまで社内のアカデミー受講者（クリエイター専攻1期・プロデューサー専攻2期）から話を聞く機会が多く、自分もいずれ受けたいと思っていました。以前エスノグラフィーを学んだ経験や、フォーサイトの考え方に親しみがあったことも後押しになりました。会社としてもフォーサイトの手法への関心が高まっており、アカデミー受講者募集の際に自ら手を挙げました。新規事業部門として、これまでの“転・結”に加え“起・承”の方法論を学びたいという強い動機があったんです。

### ▶ 実際に受講してみていかがですか

どの講義も刺激的で、社内の実践へどうつなげるかが自分の課題だと感じています。特に中間発表で用いたフォーサイトシートは、社内プロジェクトにもそのまま応用し、進め方の共通言語化を図っていこうと取り組み中です。ステークホルダーマップなど組織全体の観点から「足りていない部分」に気づくことでも、自分のプランを一段深めるきっかけになっています。理解に留めず、形にするフェーズへ踏み出せたことに手応えを感じています。

### ▶ 次期受講生へのメッセージをお願いします

普段出会えない多様な受講生とのつながりは、大きな財産になります。視点が違う人と話すことで、自分の考えが立体的になり、学びが一気に広がります。仲間が実践していることを知ることで、自分自身の取り組みのヒントが見えてきます。アカデミーの学びは必ず活かせます。迷うより、まずは一步踏み出してほしいと思います。



**熊澤 隆** Yutaka KUMAZAWA

前田道路株式会社

経営企画部 副部長

▶ **アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください**

道路・建設・製作所が集まるホールディングスの取り組みで、会社から推薦を受けて参加しました。時代環境が変化する中で、従来のやり方だけでは厳しくなると感じ、考える時間と新しい視点を得るための機会として受講を決意。個人的なライフワークであるオーケストラ活動での“集合体の力”を、会社にも広げられたらという期待も後押しになりました。

▶ **実際に受講してみていかがですか**

視点を広げる習慣が身につき、これまで見落としていた事象に気づけるようになりました。当たり前を問い直す姿勢や、理系的な数値化の考え方に触れたことで、抽象的だった価値を可視化するヒントを得られたのが大きな収穫です。同じ志を持つ仲間がいる場合は、現場に戻ったときの立て直しにもなり、刺激が絶えません。

▶ **次期受講生へのメッセージをお願いします**

この場が人を変える実感を与えてくれます。自分一人では作れない環境や刺激がここにはあり、得た学びは会社にも還元できます。機会を与えられたらぜひ挑戦してほしい。自分を追い込み、学んだことを周りに広げることで、組織全体の余白や創造力が育っていくはずです。



**青山 佑紀** Yuki AOYAMA

**インフロニア・ホールディングス株式会社**

人材戦略部

### ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

上司とメンバーの推薦で参加しました。会社が期待を込めて選定してくれたことがうれしかったですね。私はコーポレート部門にいるので新価値創造とは距離がありましたが、この機会に視野を広げたいと思いました。

社内でフォーサイト・クリエーションの研修を実施した経験もあり、方法論に触れていたこともきっかけのひとつです。

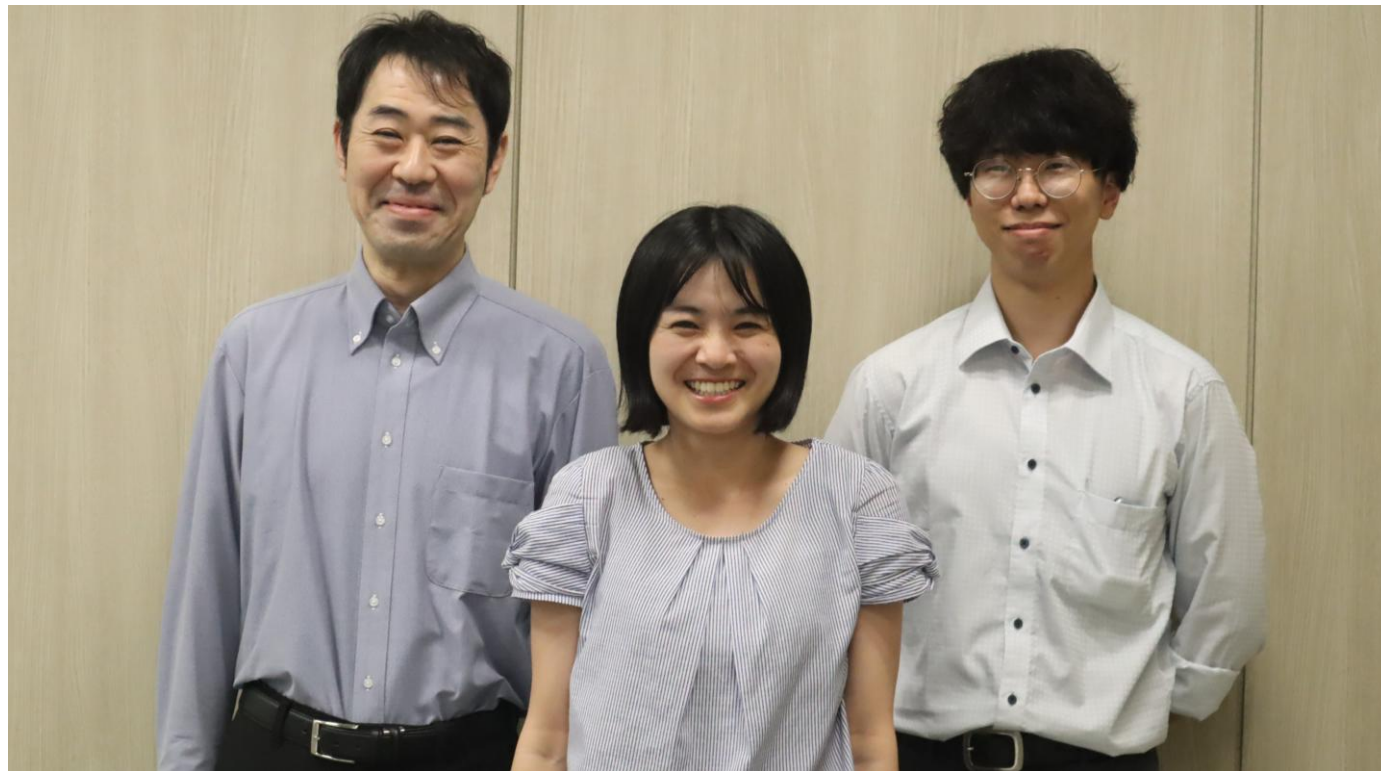
### ▶ 実際に受講してみていかがですか

受講前は「価値創造はプロフィット部門の仕事」と思っていたのですが、今はそうではないと感じています。自分の業務の根源的なところまで考え、現状を変えてみたいという発想に至ったのはこのプログラムのおかげです。フォーサイト・クリエーションを社内に取り入れていく立場としても、体験しておいて本当によかったと思います。共通言語を持つことの意味、そして自分のものの見方・考え方が広がったことを実感しています。

### ▶ 次期受講生へのメッセージをお願いします

「新しい商品やサービスを考えたいけれど、どうしたらいいかわからない」—そんな人には特におすすめです。実際、社内で研修を実施した際にも、初回講義を受けた人たちが「早く次を聞きたい」と言っていました。

どんな部門の人にとっても、自分の業務に新たな価値を生み出すヒントが得られるプログラムです。少しでも関心があるなら、ぜひ挑戦してみてください。



木村幸司 (株) ジェイテクト 「実践的な内容が自身にとってもあっていました」

奈良未沙希 三生医薬(株) 「オンラインの一方的な講義では得られない価値がある」

田中佑弥 (株) オートネットワーク技術研究所 「自分事で考えるという視点を得ました」

▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

奈良 上司から「一度きちんと体系的に学んでみたらどうか」と勧められました。以前に『ザ・ファーストペンギンス』の本を読んでおり興味もあったので、「ぜひ受けたい」とお願いしました。見学のときに加藤先生の鋭いフィードバックを聞いて、ここなら本気で学べると感じました。

田中 会社の自己啓発プログラムの一環で上司に紹介されました。これまでもインタビューや新規事業を考える機会があったのですが、どうしても手探りで進めていました。フォーサイト・アカデミーは、そうした経験を整理して体系的に学ぶ絶好の機会だと思い、希望しました。

木村 部署全体が新規事業を考える部門なので、「部署として受けるべき」という話になり受講しました。上司がプロデューサー専攻の修了生で、話を聞くうちに自分にも必要な学びだと感じていました。

### ▶ 実際に受講してみているかがですか

奈良 本を読んだだけでは理解できなかったことが、実際にテーマをもって取り組み、具体的なフィードバックをもらう中で腑に落ちました。オンラインの一方通行な講義では得られない価値があります。自分の業務にも反映しやすく、受けてよかったと心から思います。

田中 複数のメンバーと一緒に取り組むのが刺激的です。自分より進んでいる人を見ると「やらなきゃ」と思えるし、考え方の違いにも気づかされます。特に、「それは田中さん自身は嬉しいの？」と問われた時はハッとしました。これまで“多くの人のために”を意識しすぎて、自分ごとにできていなかったと気づいた瞬間でした。今は、自分自身の感覚を大事にしながら考えるようになっていきます。

木村 実践型の内容がとても合っていると感じています。社内で悩んでいたことも、ここでは先生方や仲間からの具体的なアドバイスで加速できています。講師が実際に何かを生み出してきた経験を持つ方ばかりなので、助言が現実的で説得力があります。若い世代や女性の意見を聞けるのも刺激になっています。



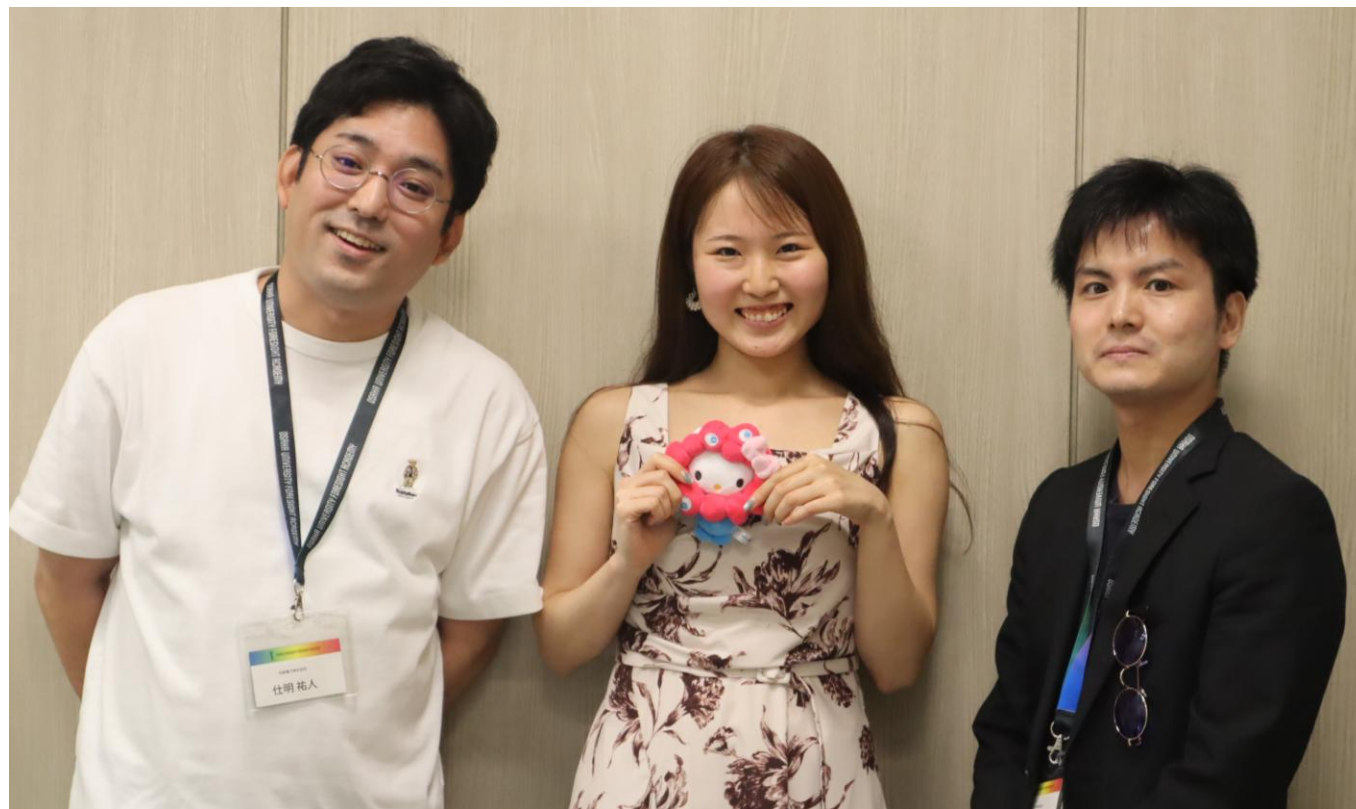
### ▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

奈良 こんなに素の自分を出せる場は初めてでした。普通の研修ではありえないくらい、安心して話せる空気を先生方が作ってくださっています。新規事業の担当者だけでなく、会社の枠を越えて新しい視点を得たい人にもおすすめです。新価値を開発するとき、ひとつの考え方しかない新しいものが生まれないと思うんです。この場は、他の考えに対する許容度も高い気がします。だから安心して自分の意見を言うこともできる場になっています。

木村 ここでの出会いは一生の財産になると思います。新価値創造の方法を学ぶだけでなく、受講生同士のつながりができることが大きな魅力です。

田中 仕事の延長では得られない刺激がここにはあります。普段と違う環境に身を置くことで、凝り固まった考えがほぐれ、視野が広がります。同年代の仲間と出会い、社会人としてもう一度“学ぶ面白さ”を思い出せる場所です。





仕明 祐人 中部電力株式会社 「言葉にできないことが整理されて腑に落ちた」

飯塚 有菜 ライオン株式会社 「想いや楽しさを取り戻せる場所だと思う」

及川 貴瑛 KDDI株式会社 「固定概念から抜け出す体験は衝撃だった」

### ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

及川 部長からチャットで「こういうのがあるから受けてみないか」と連絡がありました。最初に思ったのは「日数が多いな」でしたね。でも受けてみたら印象が全く変わりました。

仕明 僕も上司からの推薦でした。会社として新しい事業を生み出す方向に舵を切っており、「お前にその役割を担ってほしい」と言われました。企画グループでワークショップを開くこともあったのですが、知識がなく手探り状態でやっていたので、これを機にしっかり体系的に学びたいと思いました。ファシリテーターとして、技術者のアイデアを引き出す力をつけたかったんです。

飯塚 私はもともと会社でフォーサイト社と一緒にワークショップをやった経験があり、その流れで上司から「アカデミーに行ってみないか」と声をかけてもらいました。学んだ言葉や考え方を社内の共通言語にして、研究職の人たちにも伝えていく役割を担っています。

### ▶ 実際に受講してみているかがですか

及川 自分は企画畑ではないので、最初は「どれだけ業務に役立つんだろう」と思っていました。でも受けてみると本当に面白い。いろんな会社の人と話せるのが新鮮で、考え方は業務を問わず役立つものだと感じます。特に「固定概念から抜け出す」という点。クイズ一つでも、自分がどれだけ決めつけていたかに気づかされました。視点を変える訓練になっていますね。

飯塚 社内プロジェクトやっていたときは、正直プロセスを理解しきれていませんでした。でもアカデミーで改めて学ぶうちに、点が線になってつながった感じです。普段の分析業務でも「分析だけでは新しい価値は生まれない」と感じていたけれど、今はこのプロセスを通して新価値を見出せるようになりました。上司もこの考え方を理解してくれているので、学びを社内で共有しやすいのもありがたいです。講師の先生に気軽に質問できるのも魅力ですね。

仕明 これまでの「なんとなくわかるけど言葉にできない」感覚が整理されて、ようやく腑に落ちてきました。同世代の人たちがどんな考え方で仕事をしているのかを知られるのも刺激的です。普段は年上の人が多い職場なので、若い世代の感覚を聞けるのは貴重。人の感情にどう向き合うかという話も印象的で、特に飯塚さんの分析はすごいなと思いました。



### ▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

及川 業務に関係なく使える大事なコアスキルを得られると思います。技術や職種に偏らない「考え方の訓練」ができるので、迷っていて踏み出せないと感じている人ほど受けてみることをお勧めします。

仕明 自分や会社の“思考のクセ”に気づける場です。どの仕事に就いても役に立つスキルなので、キャリアの転換期にいる人にもおすすめしたいです。同世代の人たちが頑張っているのを、肌で感じることができます。

飯塚 むしろ上の立場の人にこそ受けてほしい。上司がこの考え方を理解していないと、せっかくの学びを現場で活かせません。ロジカルだけでなく「想い」や「楽しさ」など大事なことを取り戻せる場所です。忙しい人ほどアカデミーに参加してほしいと思います。





清水 まりん ライオン(株) 「定性データの扱いのモヤモヤが解決しました」

山本 知樹 (株) サニックス 「対話を重ねる中で人としての成長を感じます」

小谷 朋也 (株) デンソー 「理系出身なので人文知を学べたのが新鮮だった」

### ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

山本 上司から「こういうのあるけど受けてみる？」と声をかけられました。ある程度仕事を任されるようになっていたものの、もう一歩踏み出す力が足りないと思われていたのかもしれませんが。自分でも「どう動けばいいのか」がわからず、挑戦するスキルが不足していると感じていました。上司たちは“好きにやれ”と言うけど、いざやろうとすると人の目が気になる。だからこそ、この機会に学んでみたいと思いました。

清水 もともとフォーサイトのプロジェクトで関わりがあり、上司から「もっと深く学んでみよう」と勧められました。これまでは依頼を受けて動く仕事が多かったのですが、「自分たちで生み出す力を持つ」という方針に変わり、そのための学びとして参加しました。フォーサイトで出会った“ファクト”という言葉も印象的で、今では社内の共通言語として使っています。

小谷 上司や同僚がこれまで受講していて、視野を広げるチャンスだと思い、思い切って参加しました。

## ▶ 実際に受講してみているかがですか

山本 シンプルに楽しいです。これまで一步を踏み出せなかった理由が、学ぶ中で少しずつ言語化できるようになりました。自分の尊敬する上司たちは、こういう考え方をしていたのかと腑に落ちる瞬間が多い。レベルの高い人たちと対話することで、人としての成長を感じます。

清水 毎回、新しい発見があります。これまで“定性的なデータ”の扱いにモヤモヤしていましたが、その価値を理論的に理解できるようになりました。SNSなどの分析などでも感覚的な部分を扱うことが多かったので、「どうすれば意味を見いだせるのか」が明確になり、仕事に直結しています。少人数でのワークが多く、講師の丁寧なフィードバックが得られるのも魅力です。

小谷 理系出身なので、人文知を学ぶのはとても新鮮でした。大学の教養科目を思い出すような感覚で、純粹に学ぶ楽しさを味わっています。異業種の人たちとのグループワークを通して、自分の世界の狭さを痛感しましたし、本を読む習慣もつきました。社会人になって改めて“勉強する”という時間を持てたことが嬉しいです。



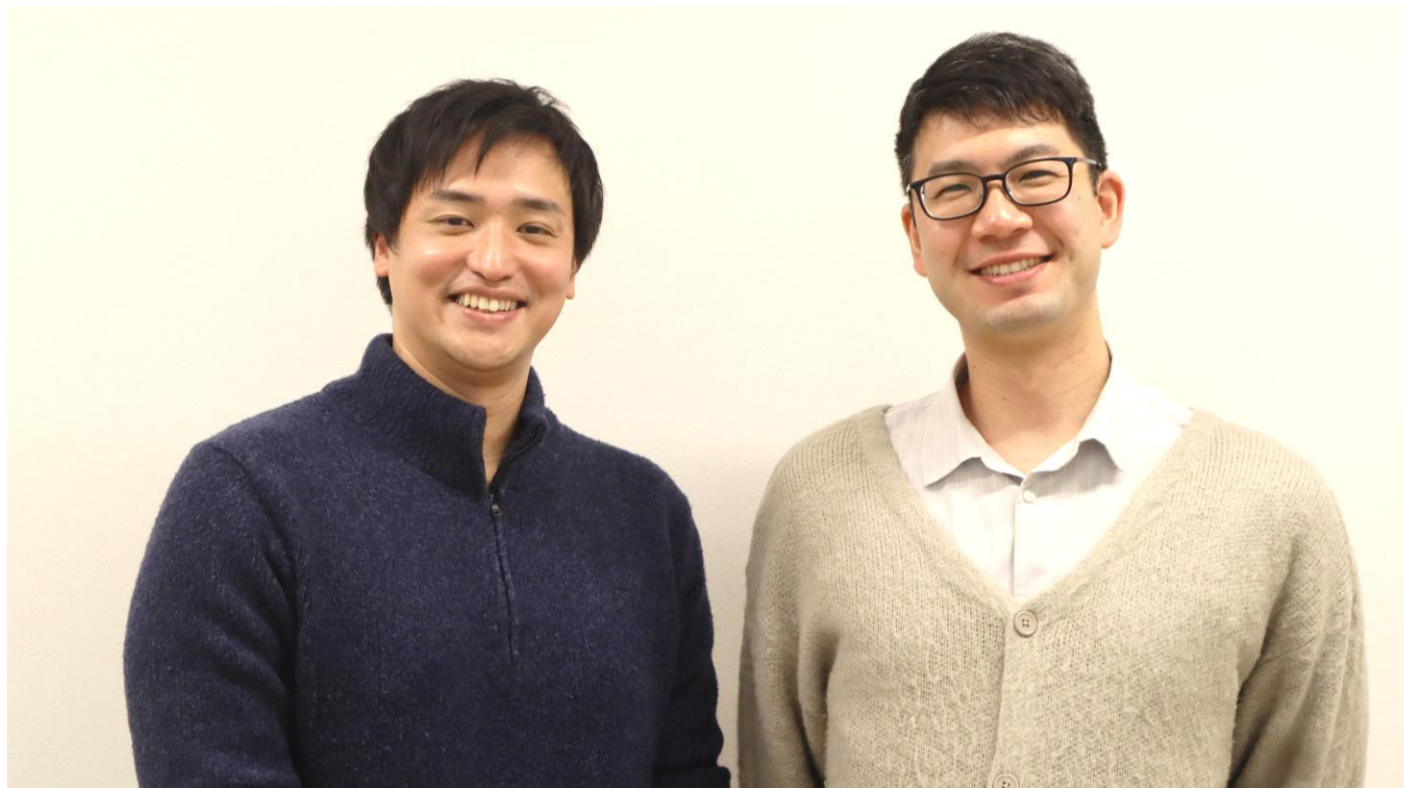
## ▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

山本 「行けばわかるぞ」。前向きな気持ちで飛び込めば、自分の気持ちに比例して学べるはず。限界はないから、ぜひ飛び込んで体験してほしいですね。

清水 一般的なセミナーに比べても、ここでの学びは確実に仕事につながると感じます。私は実際にアカデミーで学んだことを会社に持ち帰って、自分の中に残る知見を使えることを体感しています。Foresight Creationで教わったファクト解釈シートやフォーサイトシートも社内で大活躍しています。

小谷 参加すれば魅力はわかります。学びはもちろんです、仲間ができることが何よりの財産だと感じています。一人ではしぼむ熱意も、共に学ぶ仲間がいれば続けられる・・・アカデミーはそんなふう実感できる場所です。





### ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

井ノ原 きっかけは、以前クリエイター専攻を受講していた先輩からの声かけでした。新規事業部門で技術の要素探索を進める中、なかなか手応えをつかめずにいたんです。異動前の業務では、お客さんの要望をもとに技術開発を進めてきましたが、現在の新規事業探索では“受け先がまだ見えないテーマ”を扱うことに戸惑いもありました。自分のやり方が正しいのか確信を持てなかったのです。そんな中で、方法論を体系的に学べる点に惹かれ、挑戦してみたいと思いました。

西畑 自分も先に受講していた先輩から薦めてもらったのがきっかけです。営業の立場で新規ビジネスを考える中、KPIとしてアイデア創出を求められる一方で、発想が頭打ちになっている感覚がありました。何か新しい風を入れたい、枠を超える必要があると感じていたんです。先輩から話を聞く中で、普段の業務とはまったく違う視点や方法に触れられる場だと知り、「今の自分にはこれが必要かもしれない」と感じました。悩むより、まず一度外に出てみようと思い、参加を決めました。

西畑 顕斗 / (株)ジェイテクト

「自分の枠を飛び出して全く新しい方法論を得た感覚がありました」

井ノ原 拓実 / 日東電工(株)

「なぜ自分はこのテーマをやりたいかを何度も考えることが重要でした」

### ▶ 実際に受講してみているかがですか

井ノ原 この場だったからこそ、自分のアイデアに粘り強く向き合えたと感じています。普段の業務ではどうしてもスピードや成果が優先され、途中で方向転換してしまうことも少なくありません。でもここでは、問いを重ねながらじっくり考え続ける時間がありました。

特に印象的だったのが、加藤先生の講義で行った「自己理解」のワークです。「なぜあなたはそれをやりたいのか」と何度も考える中で、表面的な理由ではなく、自分の原体験や違和感に根ざした動機に気づくことができました。その瞬間、アイデアが“テーマ”から“自分ごと”に変わった感覚がありました。だからこそ最後まで粘り強く取り組めたのだと思います。

西畑 森田先生の講義は、自分にとってまったく新しい扉を開く体験でした。人類学者という立場から示される視点は、これまでビジネスの現場で触れてきた思考法とはまったく異なるものでした。特に社会技術マッピングの手法では、アイデアを単体で考えるのではなく、社会や文化、関係性の中に置き直して捉えます。

すると、それまで見えていなかった背景や構造が浮かび上がってきました。「こんな考え方があるのか」と純粋に驚きましたし、自分の思考の枠の狭さにも気づかされました。まさに“全く新しい方法”を得た感覚で、発想の土台そのものが広がった実感があります。

### ▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

井ノ原 会社の中では、どうしても「事業になるかどうか」を先に考えてしまい、芽の段階でアイデアを手放してしまうことがあると思います。でもこのアカデミーには、否定せずに考え続けさせてくれる環境があります。時間をかけて、自分の想いや違和感と向き合いながら形にしていく経験は、なかなか会社ではできません。自分が発見したものを、自分の足でビジネスにつなげていく。そのプロセスに本気で向き合いたい人には、ぜひチャレンジしてほしいです。安心して粘り強く取り組める場だと思います。

西畑 悩んでいる時点で、きっとどこかに「行ってみたい」という気持ちがあると思います。だったら、まず飛び込んでみてほしいです。業種や職種が違う人たちと、フラットに意見を交わしながら考える経験は、本当に貴重です。自分の当たり前が当たり前じゃないと気づかされる場でもあります。僕自身、先輩に薦めてもらって参加しましたが、今度は自分が誰かの背中を押したいと思っています。部門や会社を越えた仲間をつくりたい人には、ぜひ来てほしいですね。





宮本 崇 (株)オーグス総研「どれだけ多角的に見られるかが問われる場だと思う」

細見 阿由 (株)椿本チエイン「正解を探すよりも、迷い続けること自体に意味がある」

岩本 里樹 日東電工(株)「社外に出て越境することで引き出しが増える感覚がある」

### ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

細見 人事部門から新規部門へ異動するにあたり、上司から「学びの機会があったほうがよいのでは」と勧められたことがきっかけです。複数の候補の中でも、聞くだけでなく実践できそうだと感じ、このアカデミーを選びました。新しい分野に一から挑戦したいという思いとも重なっていました。

宮本 同僚に勧められて読んだ松波アカデミー長の著書が出発点でした。「観察」という言葉に惹かれ、データに表れない価値を見つける視点が自分の関心と合致すると感じました。フォーサイトのイベント参加を通じて、実践まで踏み込める場だと分かり、個人で受講を決めました。

岩本 部長から背中を押されたことが受講のきっかけです。現場改善からR&Dへと経験を重ねる中で、発見から研究、試作、ものづくりまで一連を担える人材を目指したいと考えていました。行動観察を起点に新しいテーマを見つける力を養えそうだと感じました。

## ▶ 実際に受講してみているかがですか

細見 「とても面白い」と同時に「とても難しい」という感覚です。正解を探すよりも、迷い続けること自体に意味があると感じています。モヤモヤを抱えたまま考え続ける面白さがあり、日常の選択や行動にも自然と「なぜだろう」と目を向けるようになりました。

宮本 簡単か難しいかというより、どれだけ多角的に見られるかが問われていると感じます。経験値や引き出しの差はありますが、自分なりの軸がどういったものなのかを知れば、前に進める。受講生それぞれの視点に触れられること自体が、大きな学びになっています。

岩本 やってみると、これまで周囲に無関心だった自分に気づかされ、観察する姿勢そのものに苦戦しています。ただ、その分、他の受講生の着眼点が非常に刺激的です。仕事でも「このテーマはどこから生まれたのか」と考えるようになりました。



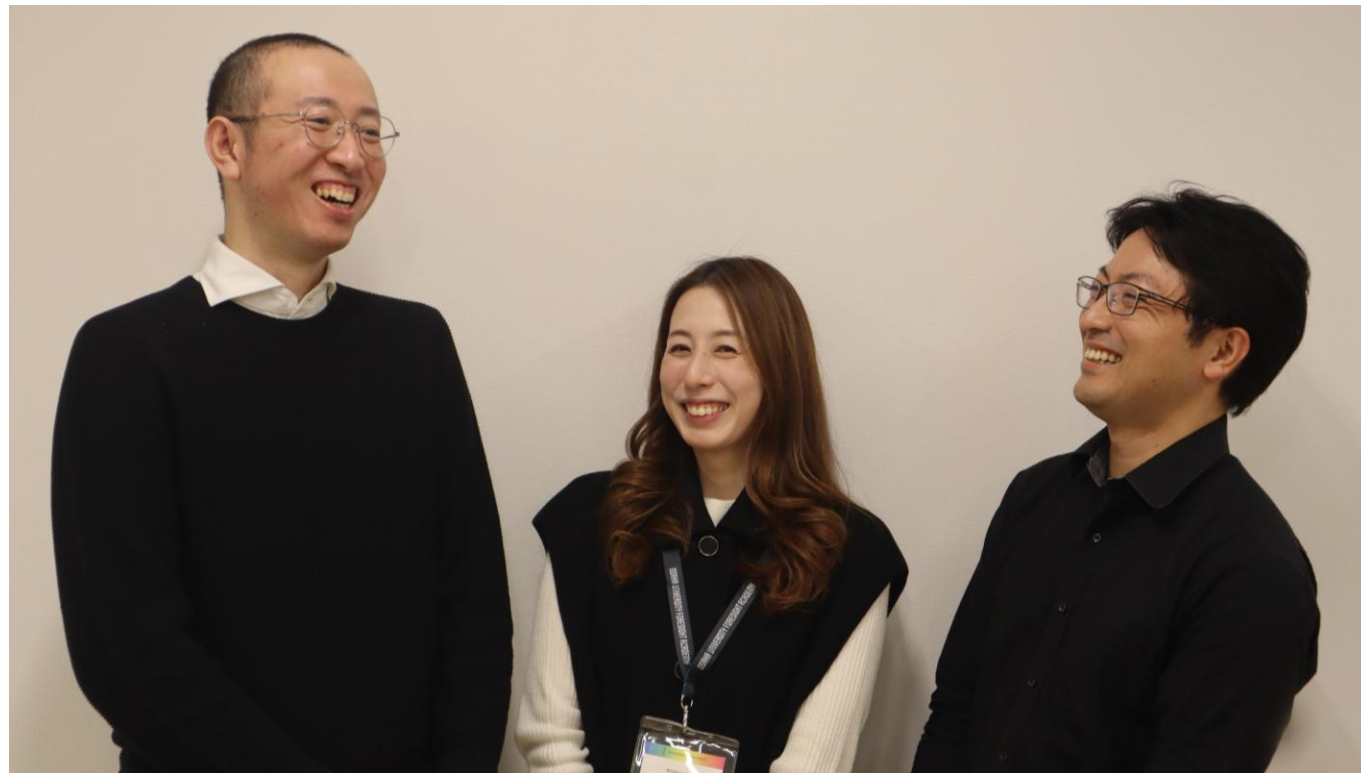
## ▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

岩本 日常の仕事はどうしても収束型になり、発散する思考を忘れがちです。ここで得た視点を自分の中に持ち帰ることが、これからの仕事に必ず活きると感じています。社外に出て越境することで視座が上がり、引き出しが増える感覚も得られます。

宮本 迷っているなら、やってみたほうが良いと思います。私たちは多くの判断を無意識にしていますが、その背景に目を向ける力は大人になるほど鈍っていきます。このアカデミーは、子どもの頃に持っていた感覚を思い出させてくれる場。体験を通じてこそ得られる気づきがあります。

細見 自分の考えを深めるだけでなく、他者の意見を受け止める力も養われます。以前は「違う」と感じていた意見にも、「なぜそう考えるのか」と背景を想像できるようになりました。ものの見方が確実に変わる経験になると思います。





小境 敏揮 (株)ジェイテクト 「今までと違う脳を使っている気がします」

三谷 裕子 朝日放送テレビ(株) 「率直なフィードバックを真正面から受けています」

安藤 雅浩 日本ガス(株) 「想いとテーマを自分の言葉で語れるようになりました」

## ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

小境 1期プロデューサー専攻を受講していた上司から推薦を受け、「もっと勉強してこい」というメッセージを背中越しに感じたのがきっかけです。それまでフォーサイトのことは知らなかったものの、竹林さんの本には親しみがありました。アカデミーのことを調べるうちにワクワクと同時に不安も芽生えましたが、既存の新規事業系セミナーとは違う感触に期待を持ちました。

安藤 社内の新規事業アイデアコンテスト参加者が応募できる制度があり、会社として2人目の受講者に選ばれました。もともとコンテストに応募した動機はクオカードでしたが（笑）、実際に取り組んでみると大きな学びがありました。新規事業を担当する立場とも重なり、自分にとって挑戦すべき機会だと感じました。

三谷 社内のオープンイノベーション研修の中から選んで応募しました。子育てが一段落し、管理職として労務やマネジメントを学ぶフェーズに入的过程中、「このままでいいのかな」と感じていた時期でした。多くの選択肢の中で「新価値創造」という言葉に惹かれ、家庭と両立できる時間帯での開催も後押しとなりました。

## ▶ 実際に受講してみているかがですか

小境 これまでの研修は話を聞き対話する形式が多かったのですが、このアカデミーはとにかく自分で深く考え続ける必要があります。今までとは違う脳を使っている感覚があり、「ちゃんとやっている」という実感がモチベーションになっています。集中して考える時間や場所を意識的に確保するなど、日々の行動にも変化が生まれました。

安藤 新規事業系のセミナーは数多くありますが、情報をインプットするだけでは前に進めないと感じていました。自分の想いとテーマに4カ月という長い時間をかけて向き合える体験は、アカデミーならではの気がします。この経験が、社外の人と話す際にも自分の言葉で説明できる自信につながっています。

三谷 とても刺激的で、「学びに来ている」という実感があります。社内で役職が上がると減りがちな率直なフィードバックを、ここでは真正面から受け取れるのが新鮮です。異業種の受講生と話すことで、同じ課題でも思考の順番や入口がまったく違うことに気づかされ、視野が大きく広がっています。



## ▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

小境 関西らしい言葉遣いや空気感が自分には合っていて、気取らず参加できるのが魅力です（笑）。迷っているならまずは一歩踏み出してみしてほしい。「やってみなはれ」という気持ちで飛び込めば、これまでとは違う思考の景色が見えてくると思います。

三谷 WEBサイトを見るとスタイリッシュで敷居が高そうに感じるかもしれませんが、実際はとてもワイワイした場です。知識がない状態からでも寄り添ってもらえる安心感があります。「迷うな、やってみよ」という感覚で十分。受講後には、少しアップデートされた自分に出会えるはずです。

安藤 やりたいアイデアがあるのに、社内に制度や進め方がなくて悩んでいる人にこそおすすめです。ここで整理した考えは、レポートや発表を通じて経営層にも伝えやすくなります。アイデアを前に進めるための提案しやすい土台をつくれる場だと思います。





**佐藤 大地** 株式会社サニックス資源開発グループ「安心して挑戦できる貴重な場」

**重松 義武** 株式会社ニトムズ「多様なフィードバックから視野が広がった」

**武部 颯太** 住友理工株式会社「普段とは違う思考回路を使っている」

## ▶ アカデミーを受講したきっかけ・理由を教えてください

**佐藤** 上長や同じオフィスの受講経験者から声をかけてもらったのがきっかけです。日頃から取り組みの報告を聞いており、毎回かなり頭を悩ませている様子が印象に残っていました。大変そうだけれど本気で思考と向き合う場なのだろうと感じ、自分もその環境に身を置いてみたいと思いました。

**重松** 私も上司からの指名で参加しました。それまでアカデミーの存在は知りませんでしたが、企画と開発が統合された新体制の中で、唯一の開発出身である自分に新しい視点を持ってほしいという意図があったのだと思います。これまで経験があった開発系中心の研修とは異なる学びに触れられると期待しました。

**武部** 以前、同じ研究室の先輩が受講しており、人類学やプロトタイピングを学んでいると聞いて興味を持ちました。最終報告資料が社内で回覧されているのを見ていて、いつか挑戦したいと思っていました。新規事業創出に関わる立場として、その手法を少しでも学び、会社に還元したいと手を挙げました。

## ▶ 実際に受講してみているかがですか

佐藤 営業としてスピード重視で判断してきた自分にとって、一つのテーマにじっくり時間をかけて向き合う体験は久しぶりでした。方法論が体系的に整理されていて理解しやすく、「誰も置いていかない」と言ってもらえたことが支えになりました。この思考法は新規事業だけでなく日常業務にも活かせると感じています。

重松 東京から通う距離は正直大変ですが、それ以上に得るものがあります。方法論を学ぶだけでなく、異業種のメンバーから率直なフィードバックをもらえる機会が多く、自分のテーマを違う角度から見直すことができます。知らないからこそ学びたいという気持ちで始めた分、確実に視野が広がっていますですね。

武部 普段の仕事とは違う思考回路を使っている感覚があります。特にファクトからインサイトを導くプロセスは難しく、無意識の固定観念に気づかされますが、そこが最も重要なポイントだと実感しています。テーマを自由に設定できる点も魅力で、本だけでは得られない深い体験をしていると感じます。



## ▶ 今後の受講生に向けてメッセージをお願いします

佐藤 始める前にあれこれ考えすぎず、まず一歩踏み出してみることが大切だと思います。年齢や職種、立場を越えて本気で議論できる場は、大人になるとなかなかありません。体系的に学びながら丁寧なサポートも受けられる、安心して挑戦できる貴重な環境です。

武部 一人ひとつのテーマに向き合うスタイルですが、決して孤独ではありません。全員で支え合うワンチームのような雰囲気があり、安心して挑戦できます。全国から集まる仲間との交流も刺激的で、参加すること自体が大きな越境体験になるはずです。

重松 異業種交流だけでなく、企画・営業・技術など多様なバックグラウンドの人と出会えるのが大きな魅力です。職種にとらわれず参加することで、自分にはなかった発想や考え方を吸収できます。新しい視点を求めている人には、ぜひ挑戦してほしいです。

